T&D保険グループ

平成２４年１１月１４日

各　位

株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス
（コード番号 8795　東証・大証第一部）
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

平成２５年３月期第２四半期（中間）決算のお知らせ

Ｔ＆Ｄ保険グループ（Ｔ＆Ｄホールディングス、太陽生命、大同生命、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）の平成２５年３月期第２四半期（平成２４年４月１日～平成２４年９月３０日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社３社合算：個人保険・個人年金保険）

○**新契約高**は、３兆３，４００億円、前年同期から９．１％の増加。
○**解約失効高**は、２兆４９９億円、前年同期から４．９％の減少。
○**保有契約高**は、５８兆７，２２３億円、前年度末から０．５％の増加。

損益関係（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**経常収益**は、１兆１，９０５億円、前年同期から１０．９％の増加。
　うち**保険料等収入**は、１兆１０億円、前年同期から３５．７％の増加。
○**経常利益**は、５８４億円、前年同期から１７．２％の減少。
○**中間純利益**は、２０５億円、前年同期から２８．３％の減少。

通期業績予想

○**通期業績予想**の修正はありません。

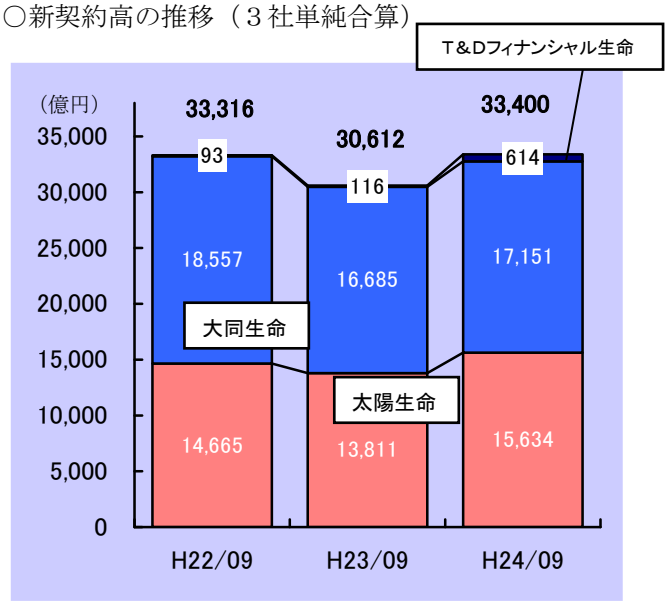
以　上

【お問合せ先】

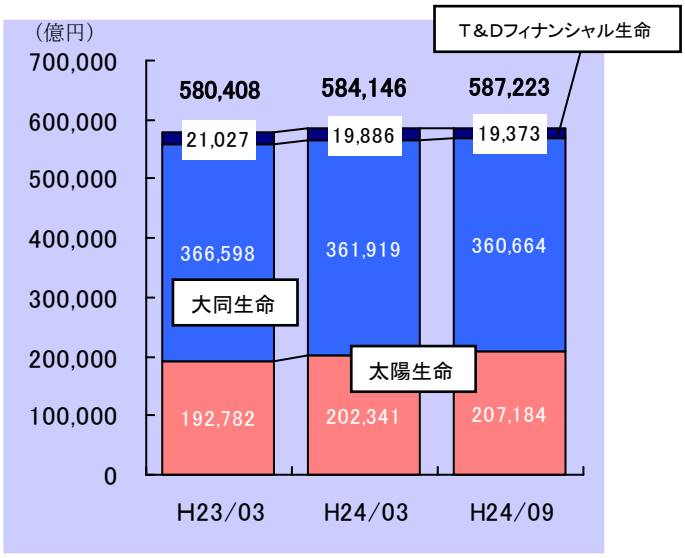
株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス　広報部　今井・松尾　TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社　広報課　家徳　TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社　広報課　西岡　TEL 03-3434-9190
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社　広報課　進藤　TEL 03-3434-8840

［契約業績（個人保険・個人年金保険）］

○新契約高の推移（３社単純合算）



○保有契約高の推移（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
新契約高	33,400	2,788 増 (9.1%増)	15,634	1,823 増 (13.2%増)	17,151	466 増 (2.8%増)	614	497 増 (428.8%増)
解約失効高	20,499	1,058 減 (4.9%減)	6,195	258 増 (4.4%増)	13,902	1,308 減 (8.6%減)	401	8 減 (2.1%減)
（解約失効率）			(3.06%)	(0.02ポイント低下)	(3.84%)	(0.31ポイント低下)	(2.02%)	(0.07ポイント上昇)
新契約年換算保険料	837	320 増 (62.1%増)	439	229 増 (109.8%増)	352	51 増 (17.2%増)	45	38 増 (578.2%増)
うち医療保障・生前給付保障等	72	4 増 (7.4%増)	30	3 減 (9.7%減)	42	8 増 (24.0%増)	—	0 減 (100.0%減)

（注）１．新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
２．解約失効率は、年換算しておりません。

（単位：億円）

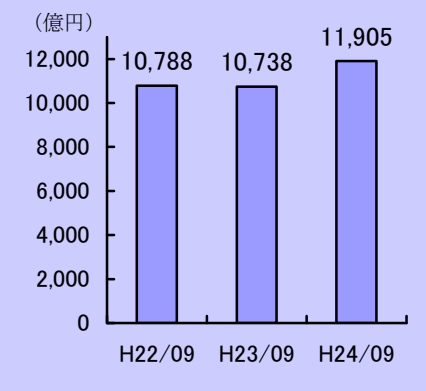
	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末比	当第２四半期末	前年度末比	当第２四半期末	前年度末比	当第２四半期末	前年度末比
保有契約高	587,223	3,076 増 (0.5%増)	207,184	4,843 増 (2.4%増)	360,664	1,254 減 (0.3%減)	19,373	512 減 (2.6%減)
保有契約年換算保険料	14,271	250 増 (1.8%増)	6,260	190 増 (3.1%増)	6,288	52 増 (0.9%増)	1,722	6 増 (0.4%増)
うち医療保障・生前給付保障等	1,602	2 減 (0.2%減)	1,024	20 減 (2.0%減)	538	19 増 (3.7%増)	39	1 減 (4.5%減)

■　３社単純合算
- **新契約高**は、３兆３，４００億円、前年同期から９．１％の増加。３社ともに増加。
- **解約失効高**は、２兆４９９億円、前年同期から４．９％の減少。主に、大同生命で減少したことによる。
- **保有契約高**は、５８兆７，２２３億円、前年度末から０．５％の増加。太陽生命で増加したことによる。

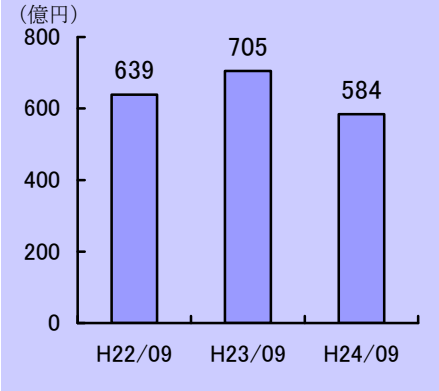
■　各社の状況
- **太陽生命の新契約高**は、１兆５，６３４億円、前年同期から１３．２％の増加。
  これは、銀行窓販による。
  また、保有契約高は、２０兆７，１８４億円、前年度末から２．４％の増加。
- **大同生命の新契約高**は、１兆７，１５１億円、前年同期から２．８％の増加。
  なお、主力商品の一つである「Ｊタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額１，９４２億円を加算した金額でみた場合、１兆９，０９４億円、前年同期から５．６％の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、３６兆６，１６１億円となり、前年度末から５８７億円増加。
  ※　「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- **Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の新契約高**は、６１４億円。
  これは主に、「生涯プレミアム・ジャパン（定額一時払終身保険）」の販売増加による。

［損益関係］

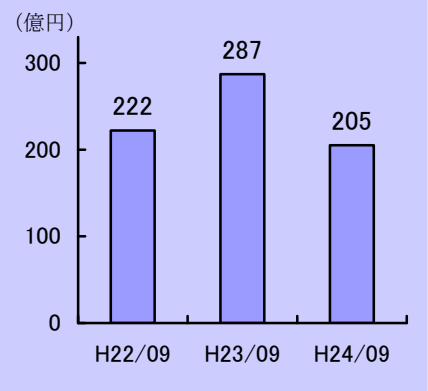
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○中間純利益（連結）



（単位：億円）

	T＆Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T＆Dフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
経常収益	11,905	1,167 増 (10.9%増)	6,545	1,885 増 (40.5%増)	4,495	621 減 (12.1%減)	848	22 減 (2.6%減)
うち保険料等収入	10,010	2,632 増 (35.7%増)	5,552	1,959 増 (54.5%増)	3,780	191 増 (5.3%増)	671	480 増 (251.7%増)
うち資産運用収益	1,580	121 減 (7.2%減)	928	62 増 (7.2%増)	630	79 減 (11.1%減)	104	54 減 (34.1%減)
うちその他経常収益	315	1,343 減 (81.0%減)	64	135 減 (67.8%減)	83	733 減 (89.7%減)	72	449 減 (86.1%減)
うち責任準備金戻入額	—	1,174 減 (100.0%減)	—	101 減 (100.0%減)	—	612 減 (100.0%減)	—	461 減 (100.0%減)
経常費用	11,321	1,289 増 (12.8%増)	6,225	1,911 増 (44.3%増)	4,224	471 減 (10.0%減)	858	81 減 (8.7%減)
うち保険金等支払金	6,646	1,206 減 (15.4%減)	3,313	220 減 (6.2%減)	2,844	972 減 (25.5%減)	487	14 減 (2.8%減)
うち責任準備金繰入額	2,557	2,557 増 (—)	1,939	1,939 増 (—)	514	514 増 (—)	102	102 増 (—)
うち資産運用費用	653	163 減 (20.0%減)	241	73 増 (43.7%増)	284	5 増 (2.0%増)	202	191 減 (48.6%減)
経常利益（△損失）	584	121 減 (17.2%減)	319	25 減 (7.4%減)	270	149 減 (35.6%減)	△10	59 増 (85.2%減)
特別利益	2	1 増 (369.9%増)	1	1 増 (—)	0	0 増 (172.0%増)	—	— (—)
特別損失	120	17 減 (12.6%減)	75	1 増 (1.7%増)	33	27 減 (44.8%減)	11	8 増 (298.2%増)
契約者配当準備金繰入額 （△戻入額）	155	9 増 (6.2%増)	79	0 減 (0.2%減)	76	9 増 (13.7%増)	△0	0 増 (61.3%減)
税引前中間純利益 （△損失）	310	111 減 (26.5%減)	166	24 減 (13.0%減)	161	131 減 (44.9%減)	△22	50 増 (69.5%減)
法人税等合計	102	30 減 (22.7%減)	49	2 増 (5.1%増)	54	47 減 (46.4%減)	△5	16 増 (75.5%減)
中間純利益（△損失）	205	81 減 (28.3%減)	117	27 減 (18.9%減)	106	83 減 (44.1%減)	△16	34 増 (67.0%減)

（参考）

資産運用関係収支 （一般勘定）	1,135	150 減 (11.7%減)	686	11 減 (1.6%減)	356	87 減 (19.7%減)	100	51 減 (34.1%減)

（注）１．T＆Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社３社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
２．保険料等収入の３社単純合算は１兆４億円（前年同期比 35.7%増）です。
３．特別損失（120 億円）のうち、103 億円は価格変動準備金への繰り入れです。（太陽生命：70 億円、大同生命：33 億円）
４．資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**経常収益**は、１兆１，９０５億円、前年同期から１，１６７億円の増加。
これは主に、太陽生命の保険料等収入の増加による。
・**経常利益**は、５８４億円、前年同期から１２１億円の減少。
これは主に、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命での変額個人年金保険の最低保証収支の改善があったものの、太陽生命および大同生命で資産運用関係収支（一般勘定）の減少、および前年同期には東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したことによる。
・**中間純利益**は、２０５億円、前年同期から８１億円の減少。

■　太陽生命の状況

・**経常収益**は、６，５４５億円、前年同期から４０．５％の増加。
・**保険料等収入**は、５，５５２億円、前年同期から５４．５％の増加。
これは主に、銀行窓販等による。
・**経常利益**は、３１９億円、前年同期から７．４％の減少。
これは主に、前年同期には東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したこと、および資産運用関係収支（一般勘定）が減少したことによる。
・**中間純利益**は、１１７億円、前年同期から１８．９％の減少。

■　大同生命の状況

・**経常収益**は、４，４９５億円、前年同期から１２．１％の減少。
・**保険料等収入**は、３，７８０億円、前年同期から５．３％の増加。
・**経常利益**は、２７０億円、前年同期から３５．６％の減少。
これは主に、資産運用関係収支（一般勘定）の減少、および前年同期には東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したことによる。なお、資産運用関係収支（一般勘定）の減少は主に、株式市況の下落に伴い、有価証券評価損が増加したため。
・**中間純利益**は、１０６億円、前年同期から４４．１％の減少。

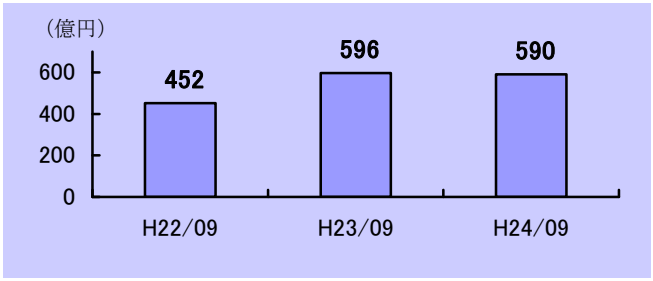
■　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の状況

・**経常収益**は、８４８億円、前年同期から２．６％の減少。
・**保険料等収入**は、６７１億円、前年同期から２５１．７％の増加。
これは主に、新契約高の増加による。
・**経常利益（△損失）**は、△１０億円、前年同期から５９億円の改善。
これは主に、変額個人年金保険の最低保証収支の改善による。
・**中間純利益（△損失）**は、△１６億円、前年同期から３４億円の改善。

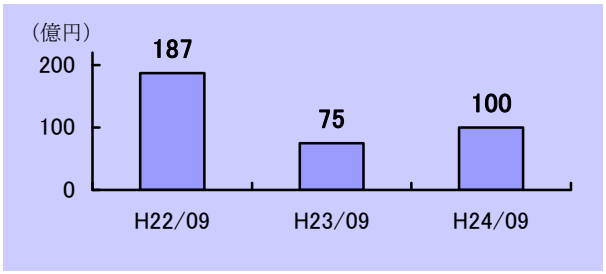
［その他の指標等］

＜基礎利益と逆ざや＞

○基礎利益（３社単純合算）



○逆ざや額（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
基礎利益	590	6 減 (1.1%減)	290	11 減 (3.8%減)	355	96 減 (21.4%減)	△55	101 増 (64.5%減)
逆ざや額	100	25 増	25	3 減	62	30 増	13	1 減

■　３社単純合算

・**基礎利益**は、５９０億円、前年同期から６億円の減少。

■　各社の状況

・**太陽生命の基礎利益**は、２９０億円、前年同期から１１億円の減少。
　これは主に、前年同期は東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したこと等による。
逆ざや額は、２５億円、前年同期から３億円の改善。
　これは主に、基礎利益上の運用収支の増加による。

・**大同生命の基礎利益**は、３５５億円、前年同期から９６億円の減少。
　これは主に、逆ざやの増加、および前年同期は東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したことによる。
逆ざや額は、６２億円、前年同期から３０億円の増加。
　これは主に、リスク削減に伴う株式投資信託の解約損の増加等、基礎利益上の運用収支の減少による。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益**は、△５５億円、前年同期から１０１億円の改善。
　これは主に、変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が減少したことによる。
逆ざや額は、１３億円、前年同期から１億円の改善。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

	Ｔ＆Ｄホールディングス		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率	―	―	717.5%	29.8pt 低下	925.0%	73.1pt 上昇	525.3%	28.4pt 低下
連結ソルベンシー・マージン比率	825.4%	14.8pt 上昇	722.8%	36.2pt 低下	932.0%	73.7pt 上昇	―	―

（注）Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**連結ソルベンシー・マージン比率**は、８２５．４％、前年度末から１４．８ポイント上昇。
　これは主に、資産運用リスク等の減少による。

■　各社の状況

・**太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、７１７．５％、前年度末から２９．８ポイント低下。
これは主に、その他有価証券の評価差額の減少等に伴うソルベンシー・マージン総額の減少による。

・**大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、９２５．０％、前年度末から７３．１ポイント上昇。
これは主に、資産運用リスクの減少に加え、中間純利益および価格変動準備金の増加等に伴うソルベンシー・マージン総額の増加による。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、５２５．３％、前年度末から２８．４ポイント低下。
これは主に、相場変動に伴うソルベンシー・マージン総額の減少による。

＜実質純資産＞

（単位：億円）

	Ｔ＆Ｄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ（連結）		太陽生命（単体）		大同生命（単体）		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命(単体)	
	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減
実質純資産	14,116	339 増	5,844	67 増	6,938	240 増	988	28 増

（注）ＥＥＶ計算上の修正純資産は、グループが１兆613億円（前年度末比246億円増）、太陽生命が4,848億円（同47億円増）、大同生命が5,072億円（同167億円増）、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命が692億円（同31億円増）です。

■　**Ｔ＆Ｄホールディングス連結**

・**連結実質純資産**は１兆４，１１６億円、前年度末から３３９億円の増加。
これは主に、有価証券差損益の増加や価格変動準備金の増加等による。

■　各社の状況

・**太陽生命の実質純資産は、**５，８４４億円、前年度末から６７億円の増加。
これは主に、価格変動準備金の増加による。

・**大同生命の実質純資産**は、６，９３８億円、前年度末から２４０億円の増加。
これは主に、有価証券差損益の増加による。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の実質純資産**は、９８８億円、前年度末から２８億円の増加。

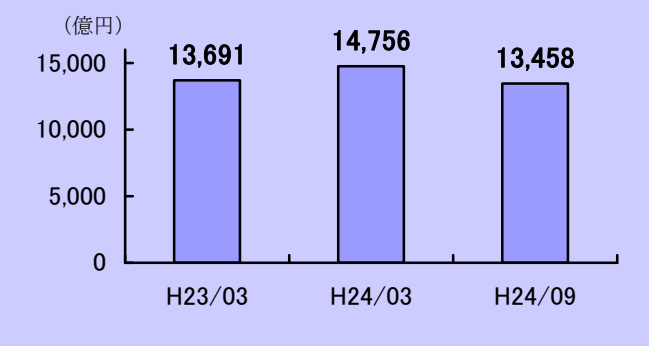
＜有価証券差損益（一般勘定）＞

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減	当第２四半期末	前年度末増減
有価証券の差損益（一般勘定）	4,117	252 増	2,508	12 増	1,462	205 増	146	35 増
うち公社債	2,938	633 増	1,666	302 増	1,125	295 増	146	35 増
うち株式	461	519 減	209	440 減	251	79 減	－	－
うち外国証券	649	191 増	573	160 増	75	30 増	－	－
うちその他の証券	△97	83 減	△20	26 減	△76	56 減	－	－
うち金銭の信託	△4	1 減	－	－	△4	1 減	－	－
うち買入金銭債権	169	33 増	79	15 増	90	18 増	－	－
土地等の差損益	162	0 減	△7	0 減	170	0 減	－	－

（注）１．有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
２．土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

＜ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー（ＥＥＶ）＞



（単位：億円）

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末比	当第２四半期末	前年度末比	当第２四半期末	前年度末比	当第２四半期末	前年度末比
ＥＥＶ	13,458	1,297 減	4,914	586 減	7,904	664 減	639	46 減
修正純資産	10,613	246 増	4,848	47 増	5,072	167 増	692	31 増
既契約の将来価値	2,845	1,544 減	66	633 減	2,832	832 減	△52	78 減

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
新契約価値	226	3 減	31	72 減	185	49 増	10	20 増

■　Ｔ＆Ｄ保険グループ

・**ＥＥＶ**は、１兆３，４５８億円と、前年度末から１，２９７億円の減少。これは主に、金利低下等による。

■　各社の状況

・**太陽生命のＥＥＶ**は、４，９１４億円、前年度末から５８６億円の減少。
・**大同生命のＥＥＶ**は、７，９０４億円、前年度末から６６４億円の減少。
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のＥＥＶ**は、６３９億円、前年度末から４６億円の減少。

［平成２５年３月期通期業績予想］

○Ｔ＆Ｄホールディングス連結

平成 25 年 3 月期の通期業績予想は次のとおりです。（平成 24 年 5 月 15 日公表分から変更ありません。）

（単位：億円）

	平成２４年３月期実績	平成２５年３月期予想	増減
経常収益	21,041	21,100	58 増 （ 0.3%増）
経常利益	1,208	1,140	68 減 （ 5.7%減）
当期純利益	267	360	92 増 （34.5%増）

１株当たり年間配当金予想は２２．５円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社３社（単体）の平成２５年３月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	太陽生命	大同生命	Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命
経常収益	11,000 （217 減） （1.9%減）	8,400 （945 減） （10.1%減）	1,900 （703 増） （58.8%増）
経常利益（△損失）	600 （6 減） （1.2%減）	530 （78 減） （12.9%減）	0 （23 増） （－）
当期純利益（△損失）	180 （68 増） （62.1%増）	190 （0 増） （0.2%増）	△10 （26 増） （72.7%減）

（注）括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以　上

（参考）生命保険会社３社の平成２５年３月期通期見通し

平成 24 年 5 月 15 日公表分から変更ありません。

（単位：億円）

	３社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,280 (169 減) (11.7%減)	550 (25 減) (4.5%減)	650 (174 減) (21.2%減)	80 (31 増) (64.4%増)
保険料等収入	17,800 (896 増) (5.3%増)	9,000 (34 減) (0.4%減)	7,200 (2 減) (0.0%減)	1,600 (933 増) (139.9%増)
逆ざや額	130 (72 減) (35.9%減)	60 (5 減) (8.1%減)	50 (60 減) (54.6%減)	20 (7 減) (26.7%減)
新契約高	66,800 (3,303 増) (5.2%増)	31,300 (2,180 増) (7.5%増)	34,000 (145 増) (0.4%増)	1,500 (977 増) (187.3%増)
保有契約高	588,600 (4,453 増) (0.8%増)	212,000 (9,658 増) (4.8%増)	357,600 (4,319 減) (1.2%減)	19,000 (886 減) (4.5%減)
解約失効率（%）		6.3 (−)	8.1 (0.1 ポイント上昇)	3.8 (0.6 ポイント低下)

（注）１.括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。

２.新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

３.大同生命に関して、「Ｊタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。（「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。）

新契約高　　：３兆 7,400 億円

保有契約高　：36 兆 4,500 億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以　上